

第 1 2 回 経 済 常 任 委 員 会 会 議 記 録

開 閉 会 日 時	平成 2 7 年 1 月 1 6 日 (金 曜) 午 後 1 時 3 0 分 開 会		
	休 憩 2:54-3:05 15:16-15:16 15:33-15:33		
	午後 3 時 3 5 分 閉 会		
会 議 場 所	役 場 3 階 第 1 委 員 会 室		
出 席 委 員 氏 名	委 員 長 常 通 直 人	委 員 正 村 紀 美 子	議 長 広 瀬 重 雄
	副 委 員 長 齋 藤 幸 子		
	委 員 小 椋 孝 雄		
	委 員 柴 田 正 博		
欠 席 委 員 氏 名			
会 議 に 出 席 し た 説 明 員	商 工 観 光 課 長	日 下 勝 祐	
	観 光 物 産 係 長	林 宏 明	
	商 工 振 興 係	池 田 哲	
	農 林 課 長	手 島 旭	
	農 産 係	街 道 孝 政	
	建 設 都 市 整 備 課 長	高 橋 将 英	
	課 長 補 佐	佐 藤 季 之	
	計 画 係	渡 辺 浩 二	
事 務 局 職 員		事 務 局 次 長 剣 持 和 裕	書 記 大 石 真 澄
『 会 議 に 付 し た 事 件 と 会 議 結 果 な ど 』			
<p>1 開 会 委 員 長 が 開 会 を 告 げ、事 務 局 か ら 本 日 の 委 員 会 の 日 程 を 説 明。</p> <p>2 議 件 (1) 調 査 事 項 ア 北 海 道 日 本 ハ ム フ ァ イ タ ー ズ 応 援 大 使 2 0 1 5 芽 室 町 応 援 大 使 の 活 用 事 業 (案) に つ い て 資 料 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担 当 課 か ら 説 明 後、質 疑 を 行 う。 ・ 小 椋 委 員：12 月 に 決 定 の 通 知 が あ り、議 会、町 民 へ の 説 明 が 遅 い。行 政 報 告 な ど あ れ ば、も っ と 早 く 対 応 で き た の で は。 ・ 日 下 課 長：12 月 下 旬 に 球 団 担 当 者 と 打 ち 合 わ せ を 行 っ た。12 月 で は、町 と し て ど の よ う な 取 り 組 み が で き る の か 説 明 で き る 段 階 で は な か っ た。 			

- ・小椋委員：農林課、教育委員会など、各課との連携の予定は。
- ・日下課長：本町の魅力発信という観点から、農林サイドにも参画いただき、JAにも協力いただきたい旨説明している。青少年の健全育成に関しては、教育委員会と連携し、共通認識のもと進めたい。
- ・小椋委員：画像の使用は公人のみとの説明だったが、JAや商工会も使用できるよう交渉の余地はないのか。
- ・日下課長：団体ごとの確認は行っていない。別途ロイヤリティが発生するなどの条件を確認したい。
- ・小椋委員：3月までの事業予定は理解したが、予算はどの程度なのか。
- ・日下課長：概算として総額150万円。懸垂幕等40万円、車両の塗装50万円、旅費等50万円程度の予定。
- ・齋藤委員：春季キャンプのツアーは2月下旬の予定だが、これでは子どもの参加が難しい。青少年の健全育成の点からどのように考えているのか。
- ・日下課長：子ども向け事業としては、4月以降の野球アカデミー、札幌ドームへの観戦ツアー、秋の大使訪問の活用を考えている。
- ・齋藤委員：後援会の立ち上げは必須なのか。
- ・日下課長：必須ではない。
- ・小椋委員：後援会の発足に、町は協力するのか。
- ・日下課長：他の町では、これを機会に発足している状況がある。動きがあれば情報提供をしていきたい。町が発起人を集める予定はない。
- ・正村委員：町のPRをどうするかが大切では。
- ・日下課長：町の魅力発信と青少年の健全育成が目的。関係課と協力して進める。

イ まちなか縁側プロジェクトの進捗状況について

当日配布資料

- ・担当課から説明後、質疑を行う。
- ・齋藤委員：新たな展開を求めるなら、仕掛けが必要。プロジェクト会議ではどのような議論があったのか。
- ・日下課長：どのようなサービスがあれば新たな人を呼び込めるのか。新規出店には何が必要なのかを実証実験で検証したい。
- ・齋藤委員：新たな利用層には、高齢者も含めるべきでは。
- ・日下課長：新しい利用層、新しい需要を検証するのも目的。
- ・正村委員：リビングカフェは誰でも自由に利用できるというものか。
- ・日下課長：鍵の管理、清掃はプロジェクトメンバーで実施。開店中はまちの駅の協力で、常時スタッフが在中する予定。
- ・正村委員：町内には同じ機能をもったスペース（まちの駅、公民館等）が存在する。既存施設とどのようにすみ分けを行うのか。
- ・日下課長：ご指摘の件は、課題として認識している。役割分担については、実証実験で検証する。

- ・正村委員：当初説明では、商業に特化せず、地域課題の解決のために取り組むとのことだったが、どのような地域課題にポイントを置いた開店なのか。
- ・日下課長：課題を見極めるという意味もある。
- ・正村委員：地域課題解決のための新しい手法だと認識している。町の課題は既に明確であり、課題解決のため具体的に取り組んでほしい。
- ・日下課長：意見は参考としたい。

ウ 農作物有害鳥獣駆除事業について

当日配布資料

- ・担当課から説明後、質疑を行う。
- ・正村委員：新規に施設を整備するという事か。
- ・手島課長：新規整備する。補助を活用すると、使用用途に制限ができるため、単費での整備とした。
- ・正村委員：給食残さは、通年で投入するのか。
- ・手島課長：法令上は通年投入も可能だが、給食残さは業者に処理をお願いしていること、運搬の問題もあり、稼働時期（H27年8月）までに調整が必要である。
- ・正村委員：委託業者は公募の予定か。
- ・手島課長：残滓処理に利用する微生物には特許があり、扱える事業者には制限がある。随意契約になる予定。

エ 都市景観啓発・普及事業について

当日配布資料

- ・担当課から説明後、質疑を行う。
- ・齋藤委員：3月まであまり時間がないが、実施可能なのか。
- ・高橋課長：調査は既に終わっており、後は庁舎内の合意形成を残すのみである。2月中にまちの意思を決定予定であり、十分に可能。
- ・齋藤委員：景観条例制定となれば、議会との情報交換が不可欠では。
- ・高橋課長：情報提供は、丁寧に行いたいと考えている。

3 その他

(1) 次回委員会開催日程 平成27年1月28日(水) 本会議終了後

(2) その他

- ・次回委員会の資料は、1月20日に送付予定。

以上をもって、閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	合計	1名
記載のとおり報告する。						
平成27年1月16日						
経済常任委員会委員長 常 通 直 人						